

支援教育の視点を踏まえた学校経営とは

梅花女子大学/大学院
伊丹昌一

1

今日の学校教育の現状と課題

- いじめ・不登校等生徒指導上の諸課題への対応
- **特別支援教育**の充実
- 外国にルーツのある子どもへの対応
- 新たな学びに対応するICTの活用
- 道德教育の教科化を始め、複雑かつ多様な課題に対応することが求められています

2

管理職による学校経営のビジョン

- 今日的教育課題や当該の学校が置かれた地域の課題
- 地域や児童生徒の実態等を踏まえた教育目標の設定
- 教育活動の実践のための組織体制
- 家庭・地域との連携体制など学校経営のビジョンをもつことが前提

3

学校経営ビジョンの必要性

- ① 学校外に対する必要性
 - ア. 学校の関与者に対する説明責任
 - イ. 学校の関与者からの協力の獲得
 - ウ. 校長としての責任の表明(公約)
- ② 学校内に対する必要性
 - ア. 異質で多様な価値観を持つ教職員の統合
 - イ. 教職員の判断・行動のよりどころ
 - ウ. 教職員の活動の意味を明らかにし、意欲を喚起

尾木和英・有村久春編著(2004)『教育課程に応える教員研修の実際』ぎょうせい より

4

学校経営ビジョンの構成要素

- ① ミッション(使命・存在意義)
- ② 重点(努力)事項
- ③ 行動規範
- ④ 組織構造(自校における分業と権限の体系)
- ⑤ 運営のしくみ(役割間の情報伝達・調整のルール問題に対する意志決定の範囲の設計)
- ⑥ リーダー行動(課題解決のための管理職による管理行動)
- ⑦ 能力・資源の開発

尾木和英・有村久春編著(2004)『教育課程に応える教員研修の実際』ぎょうせいより

5

ビジョン構築における学校管理職の役割

- 学校の抱える現状の正確な把握
- 取り組むべき課題の優先順位決定

6

最近気になる子ども

- 場面緘黙(不安症): 特定の場でしゃべれない
- 気分症(うつ)、双極性症: 躁状態に気付く
- 窃盗症(クレプトマニア): 治療が必要
- 身体醜形症: SNSの普及で拡大
- インターネットゲーム依存症: ゲームクリア命
- CU特性: 共感性に乏しく罪悪感が乏しい
- 起立性調節症: 朝起きることができない
- 適応症: ストレス耐性の低い子ども
- HSC: 感受性の強すぎる子ども

7

支援を要する子ども

- 身体運動症・知的発達症
(2.54% 特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室)
 - 発達症(6.5%)
 - 行動問題・非行
 - いじめ、不登校
 - 外国にルーツのある子ども
 - 虐待(反応性愛着形成不全)(RAD)
 - 経済的問題(貧困率15%)
 - LGBT(性的マイノリティ)
- } 二次的症狀
- } 養育の問題

8

DSM-5 神経発達症

- ・ 知的発達症（IDD）
- ・ コミュニケーション症
- ・ 自閉スペクトラム症（ASD）
- ・ 注意欠如・多動症（ADHD）
- ・ 限局性学習症（LD）
- ・ 運動症群

disorder



障害

症

9

特別支援教育とは

- ・ 特別支援教育は、障害のある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うものである。また、特別支援教育は、これまでの特殊教育の対象の障害だけでなく、知的な遅れのない発達障害も含めて、特別な支援を必要とする幼児児童生徒が在籍する全ての学校において実施されるものである。
- ・ さらに、特別支援教育は、障害のある幼児児童生徒への教育にとどまらず、障害の有無やその他の個々の違いを認識しつつ様々な人々が生き生きと活躍できる共生社会の形成の基礎となるものであり、我が国の現在及び将来の社会にとって重要な意味を持っている。

特別支援教育の推進について(通知)<19文科初第125号 平成19年4月1日>

10

通常の学級における特別支援教育

- 「障害のある児童などについては、特別支援学校等の助言又は援助を活用しつつ、個々の児童の障害の状態等に応じた指導内容や指導方法の工夫を**組織的かつ計画的**に行うもの」(小学校学習指導要領総則)
- **すべての教科**に障がいのある児童生徒への学習過程において想定される困難さとそれに対する指導上の意図や手立てについての考え方の例が記述される(付箋、絵カード、支援機器の効果的活用等)

11

通級による指導

- 通常の学級に在籍している比較的障がいの程度が軽度である児童生徒に対して、当該児童生徒の障がいに応じた特別の指導(自立活動)を特別の指導の場(通級指導教室)で行う教育形態
- 教科の補充指導という安易な形ではなく、「**自立活動**」の計画的指導を！
- 通級による指導を受ける児童生徒に、「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」を作成して活用⇒**義務化**

12

インクルーシブ教育システム

- ・ インクルーシブ教育システムとは、人間の多様性の尊重等の強化、障害者が**精神的及び身体的な能力等を可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加**することを可能とするとの目的の下、障害のある者と障害のない者が共に学ぶ仕組み(以下略)(P4)
- ・ **共生社会の形成に向けて**、障害者の権利に関する条約に基づく、インクルーシブ教育システムの理念が重要であり、その構築のため**特別支援教育を着実に進めていく必要がある**と考える。(P5)

共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進(報告)から<平成24年7月23日>

13

校長の責務

- ・ 『校長は、**特別支援教育実施の責任者**として、自らが特別支援教育や障害に関する認識を深めるとともに、**リーダーシップを発揮しつつ、体制の整備等を行い、組織として十分に機能するよう教職員を指導**することが重要である。』
- ・ 『また、校長は、特別支援教育に関する学校経営が**特別な支援を必要とする子どもの将来に大きな影響を及ぼすことを深く自覚し、常に認識を新たにして取り組んでいく**ことが重要である。』

特別支援教育の推進を学校の経営に明確に位置づけることが必要であり、学校の経営にリーダーシップを発揮する立場の管理職の**適切な対応**が求められている

特別支援教育の推進について(通知)<19文科初第125号平成19年4月1日>

14

学校経営で管理職に求められること(1)

★保護者・地域住民との連携・協力を深めながら児童・生徒の成長を実現

特別支援教育の推進を明確にした経営ビジョン

★具体的な計画

- ①学校が「特別支援教育の推進」を意識して進めていることを明確に示すこと(特別支援教育の理念を理解し、声にして発信していくこと)
- ②学校の経営方針(計画)に、目標と方策が示されていること(重要目標を位置付ける)

★組織的な運営

- ①校内委員会の設置(有効的に機能させる)
- ②特別支援教育コーディネーターの指名

15

学校経営で管理職に求められること(2)

学校全体での組織的な取組

★校内委員会の設置

○校長のリーダーシップの下、全校的な支援体制を確立して、発達症を含む特性のある子の実態把握や支援方策の検討等を行う

- ①特別支援教育に関する理念を、校長自身が理解し、教職員にしっかりと示すこと
- ②校内委員会を中心となって運営できるコーディネーターを選ぶこと
- ③校内委員会が有効に働くよう運営に校長が主体的にかかわること

16

学校経営で管理職に求められること(3)

適切な人材配置と専門性の育成

★人材育成・人材活用

<重要> → 特別支援教育コーディネーターの指名

(役割) ①校内の関係者や関係機関との連絡・調整

②保護者に対する学校の窓口

③特性のある児童生徒等への支援の充実

④地域における関係者や関係機関との連絡・調整

★選任する際の大切な視点

→ ①特別支援教育の推進に関しての理念の理解

②校内の意見調整

③保護者への説明力のある人材

17

学校経営で管理職に求められること(4)

地域・保護者への説明責任

★保護者・地域へのていねいな説明と理解

①就学支援

○本人・保護者の意向を尊重・合意形成

②交流及び共同学習の充実

③就学後のフォローアップ(柔軟な転学)

18

学校経営で管理職に求められること(5)

関係機関との連携

- ★入学から卒業後までを見通した指導・支援
- ★引継ぎの充実
- 個別の教育支援計画の活用
(保護者の了解・個人情報の適切な管理)
- ★外部専門家の活用(チーム学校)

19

リラックス法をたくさん持つ

- リラックスできる方法をたくさん身に着けます
- リラックス法があることで自信や安心につながります
- アロマセラピー、ワンピース等漫画、心が和む動画、気が休まる絵(私事ですが...)



20

子どもを許す

- 子どもを許す勇気を持つ
- 子どもを許すとは**自分を許すこと**
- 子どもに対して「ま、いっか！」といえる

- 怒りの正体は「べき」ということば
- 私たちが怒るのは目の前で自分が信じている「べき」が裏切られたとき

21

困難に向き合いましょう！

- 子どもたちは失敗から学べません
- 成功体験からの自尊感情の向上が何より
- だからこそ毅然と叱って、できたときに褒めることが重要
- 非行や愛着課題にひるむことなく、向き合いましょう！
- 支援の成果はすぐにではなく、忘れたころに大きなものがドカッと来ます

22

子どもたちの笑顔のために

- 大人の怒っている顔の向こうには子どもの笑顔はありません
- 子ども本人ばかりではなく、子どもを取り巻く環境を調整することによって「大人が期待する行動」を**自発的に**できる子どもにしましょう！
- 今日から少しずつ、無理せずやりましょう！
- 行き詰ったらいつでも相談してください